



公開特許公報

昭49 (1974)10.25

①特開昭 51-49792

22出顯日

審査請求

庁内整理番号

6928 Z4 6928 Z4 1363 Z4

52日本分類

113 FZ 113 F/24 113 CIZ

②特願昭 49-123/45

④公開日 昭51.(1976) 4.30

未請求

昭和 49年 10月 25日

特許庁長官 斎 藤 英 雄 殿

L 発明の名称

液体クロマトグラフの検出器

2. 発明者

n = A- ≡ 東京都入至今市石川町2867番地の5 育業分光子翼体式会社内

氏 名

平垣茂穂

特許出願人

東京都入至子市石川町 2 9 6 7 番地の 5番

名 称

白本分光工業株式会社

代表取締役 宮 崎

T W

4 添附書類の目録

(1) 明 : 細

書 1通

(2) 🔯

1 通

(27 法销售者销求会





GOIN Z7/6Z GOIN 31/08

(1) Int. C12

(全3頁)

明 細 君

1. 発明の名称

液体クロマトグラフの検出器

2. 特許請求の範囲

液体クロマトグラフで分離された試料を移動相とともに気化した後、水素ガスと混合し、空気が供給されるパーナー部で燃焼し、発生する赤外線スペクトルの波長分布、及び(又ば)スペクトル強度の変化を検出、記録することを特徴とする液体クロマトグラフの検出器。

3. 発明の詳細な説明

本発明は液体クロマトグラフの検出器に関するもので、液体クロマトグラフで分離された試料の赤外盤スペクトルの被長分布,及び(又は)スペクトル強度の変化を高感度に検出、記録するととを目的とするものである。

ガスクロマトグラフの検出器に水素換イオン 検出器(以下F·I·D 検出器と称す。)が用いられているととは周知の如くである。

設 F・I・D 検出器の原理図を第1図に示し説明

する。

ガスクロマトグラフのカラムを通過したへり ウム、又はチン素等のキャリャガス中に存在する有機物試料を水業ガスと混合して、空気中で 燃焼させ、その際生じだ、炎の抵抗値の変化が キャリャガス中に存在する有機物と比例関係を 有することを利用してクロマトグラムを測定す るものである。

しかし、液体クロマトグラフの場合は、キャリアがバンファー溶液、すなわち、メタノール、イソオクタン、クロロフォルム等の溶液が使用され、上述のガスクロマトグラフの様な方法で水果炎イオン検出法を用いることは不可能である。

その為、キャリア溶液を蒸発させ、残つた成 分のみをF-I-D 検出器に導く等の工夫がなされ

従つて本発明の目的は上述路欠点を除去する ことであり、液体クロマトグラフで分離された 試料の赤外線スペクトルの波長分布、及び(又 は)スペクトル強度の変化を高感度に検出、記 録することである。

すなわち、液体クロマトクラフで分離された 試料を移動相とともに気化した後、水素ガスと 混合し、空気が供給されるパーナー部で燃焼し、 発生する赤外線スペクトルの波長分布、及び (又は)スペクトル強度の変化を検出、配録す ることであり、実施例図面第3図、第4図について詳細に説明すると次の通りである。

第3回において、液体クロマトグラフで分離された試料とキャリア溶液は蒸発器20で気化した後、混合器21が水素ガスと混合される。 混合されたガスは空気が供給されるパーナー部 22で燃焼される。パーナー部22には個面に

~5gmの波長で大きな発光をしている。.

この様に炎の赤外線スペクトルはその物質により特長的であり、それぞれの物質の炎の赤外線に合致した、波長を選択、検出すれば液体クロマトグラフの検出器として有用である。

又,液体クロマトグラフで分離された試料は キャリア溶液とともに全て燃焼されるため小さ カピークであつても高感度に検出することがで きる。

従つて以上に述べた如く、液体クロマトグラフで分離された試料を全て利用するため、高感度に制定することができ、又装置も非常に単純、簡易であり、複雑な測定操作を大幅に省略する ことができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図,第2図は従来例を示す側面ブロック図,第3図,第4図(ハ,向は本発明の実施例を示すもので,第3図は側面ブロック図,第4図(ハ,向は赤外線スペクトルを示すものである。

1:電 源 · 2: 英 3:電 框

特別 特爾 昭51-49792 (2) 赤外部透過度23 が設けられており、前記バーナー部22で燃焼された際、発生する赤外線を 波長選択的に分光器24に導く。そして、分光器24で波長分散し、任意の光束が検知器25 で光電変換される。光電変換された信号は増幅器26で増幅し、記録針27で記録する。

この分光器24は,干渉フィルター,又は干 渉計を用いてもよい。

液体クロマトグラフで分離された試料を連続的に流通,燃焼させ,選択放長を固定して,連続的に記録すれば赤外線スペクトル強度のクロマトグラムを得ることができる。一方・燃焼された試料の赤外線発送を高速に放長走査すれば、/**IE
分離試料,個々の赤外線スペクトルの放長分布を得ることができる。

、次に第4図(f)(p)は各種長の赤外線放射率の達いを示した赤外線スペクトルの一例である。

第4図(I)は水素炎のものであり、2~3 mmの波長で大きを発光をしている。

第4図付はプロパンガス袋のものであり、4

4: 検出部 5, 10, 26: 增幅器

6:メーター 7,22:バーナー部

8: フイルター 9,25: 検知器

11,27: 記錄計 20: 蒸発器

21:混合器 23:赤外線透過窓

2 4 : 分光器

特許出願人 日本分光工業株式会社



A DOCPHOENIX

APPL PARTS

IMIS
Internal Misc. Paper
LET
Misc. Incoming Letter * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
371P
PCT Papers in a 371Application
A
Amendment Including Elections
ABST
Abstract
ADS
Application Data Sheet
AF/D
Affidavit or Exhibit Received
APPENDIX
Appendix
ARTIFACT
Artifact
BIB
Bib Data Sheet
CLM
Claim
COMPUTER
Computer Program Listing
CRFL
All CRF Papers for Backfile
DIST
Terminal Disclaimer Filed
DRW
Drawings
FOR <u>5</u>
Foreign Reference
FRPR
Foreign Priority Papers
IDS
IDS Including 1449

NPL
Non-Patent Literature
OATH
Oath or Declaration
PET
Petition
RETMAIL
Mail Returned by USPS
SEQLIST
Sequence Listing
SPEC
Specification
SPEC NO
Specification Not in English
TRNA
Transmittal New Application

CTNF
Count Non-Final
CTRS
Count Restriction
EXIN
Examiner Interview
M903
DO/EO Acceptance
M905
DO/EO Missing Requirement
NFDR
Formal Drawing Required
NOA
Notice of Allowance
PETDEC
Petition Decision

OUTGOING

CTMS #
Misc. Office Action
1449
Signed 1449
892
892
ABN
Abandonment
APDEC
Board of Appeals Decision
APEA
Examiner Answer
CTAV
Count Advisory Action
CTEQ
Count Ex parte Quayle
CTFR
Count Final Rejection

INCOMING
AP.B
Appeal Brief
C.AD
Change of Address
N/AP
Notice of Appeal
PA Change in Power of Attorney
REM
XT/
Extension of Time filed separate

Internal

SRNT Examiner Search Notes

CLMPTO
PTO Prepared Complete Claim Set

ECBOX
Evidence Copy Box Identification
WCLM
Claim Worksheet

Fee Worksheet WFEE

File Wrapper

File Wrapper Claim

riie wrapper Claim

SRFW File Wrapper Search Info